

## (2) 調査概要

北方領土隣接地域での参加・体験型学習に対する感想、意見、学習による意識の変化等の実態を把握し、今後の北方領土問題に関する参加・体験型学習のあり方を検討するため、修学旅行で北方領土隣接地域を訪れた高校の生徒を対象にアンケート調査を実施した。

調査対象：修学旅行で北方領土隣接地域を訪れた高校生（高2、2クラス）  
調査期間：2011年1月初旬  
調査方法：学校における無記名紙面調査票によるアンケート調査  
回収数：74票

## (3) 調査結果

### ① 修学旅行で北方領土隣接地域を訪問する以前の関心の有無や事前学習

修学旅行で、北方領土隣接地域に立地する学習施設を訪問する以前から、同問題に対して関心を抱いていたとする生徒は、全体の45.9%を占めているものの、特に関心はなかったとする生徒は、過半数の51.4%であった（問1）。また、訪問前から関心があったとする34人のうち、約8割が「ロシアとの返還交渉の状況」に関心を有し、次いで約半数が「北方領土の現在の状況」を挙げている（問2）。

このように、現在の外交交渉や現地の状況に対する関心は比較的高いものの、一方で訪問前の時点では、北方領土の「歴史」や「自然環境」に関心を寄せる生徒は1割に満たない。これらのことから、若年層を対象とした啓発や情報発信を行う際、「北方領土問題」と「自然」「産業」等の他分野とを連携させるとともに、「北方領土問題」の中でも、「現在の状況」に対する関心を契機に、外交交渉や返還運動の「歴史」「領土の帰属に対する法的根拠」などへ、興味や意識を引き込んでいくことが重要であると考えられる。

問1. あなたは、北方領土学習施設を訪問する以前から北方領土のことについて関心を持っていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 関心があった→問2へお進みください。  
2. 特に関心はなかった→問3へお進み下さい。

選択肢	回答数	比率
1 関心があった	34	45.9%
2 特に関心はなかった	38	51.4%
無回答	2	2.7%
有効回答数	74	100%



② 修学旅行で北方領土隣接地域を訪問し、学習した感想

■ 参加・体験型学習の内容に係る個別の項目に関する評価

北方領土隣接地域における参加・体験型学習の内容のうち、元島民の講話については、66.2%の生徒が「とても良かった」と回答しており、その理由として「元島民の生の声（リアルな話／ニュースなどでは聞けない話）、元島民の思いや苦勞がよく分かった」「北方領土の地図などが用意されており、説得力があった」などの点を挙げるものが比較的多く見られた。

一方、「不満／やや不満」と評価する生徒は少数にとどまるものの、「北方領土を見ることはできたが、屋外での講話であったため、とても寒かった」「話だけでは、北方領土に関して、現在、何が起きているのか分からなかった」との感想を述べている。この点は、元島民の講話を、修学旅行のコースにどのように組み込むのか検討が必要であること、加えて、講話を聞く前の事前学習の重要性を示唆するものであるといえる。

問4. 北方領土隣接地域における体験学習（北方領土望見、元島民との講話等）の内容について、以下の各項目についてどのように評価しているか、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。また①②③については、そのように感じた理由を簡潔にご記入ください。

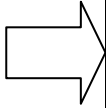
1) 元島民の方の講話の内容

1. とても良かった 2. やや良かった 3. 普通だった 4. やや不満だった 5. とても不満だった	➡	<そのように感じた理由>
--	---	--------------

選択肢	回答数	比率
1 とても良かった	49	66.2%
2 やや良かった	14	18.9%
3 普通だった	6	8.1%
4 やや不満だった	2	2.7%
5 とても不満だった	1	1.4%
無回答	2	2.7%
有効回答数	74	100%

また、元島民の講話について、約8割の生徒が「とてもわかりやすかった／ややわかりやすかった」とし、「ややわかりにくかった／とてもわかりにくかった」と評価する者は全体の1割に満たなかった。しかし、「屋外で風が吹いていて聞き取りにくかった」との意見を挙げた者が数名見られることから、先と同様に、限られた修学旅行の滞在時間の中に、講話の時間をどのように組み込むかという点は、今後の課題として挙げるができる。

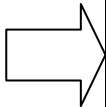
## 2) 元島民の方の講話のわかりやすさ

1. とてもわかりやすかった 2. ややわかりやすかった 3. 普通だった 4. ややわかりにくかった 5. とてもわかりにくかった		<そのように感じた理由>
--	---	--------------

選択肢	回答数	比率
1 とてもわかりやすかった	46	62.2%
2 ややわかりやすかった	15	20.3%
3 普通だった	7	9.5%
4 ややわかりにくかった	5	6.8%
5 とてもわかりにくかった	0	0.0%
無回答	1	1.4%
有効回答数	74	100%

これに対して、北方領土（国後島）の望見について、「良かった」と評価する生徒は、併せて約8割を占め、生徒らは「天気良くははっきり見ることができた」「近くでくっきりと見ることができた」と感想を述べている。しかし、別の時間帯に望見を行った他グループは「曇っていて、あまりはっきりとは見ることができなかつた」としており、また、天候の関係で見ることができなかつた生徒は、その距離的な近さを実感することができず、結果として、北方領土が日本の領土であるとの意識が持てなかつたようである。この点は、天候に左右される参加・体験型学習プログラムの難しさを表している。

## 3) 北方領土（国後島）の望見

1. とても良かった 2. やや良かった 3. 普通だった 4. やや不満だった 5. とても不満だった		<そのように感じた理由>
--	---	--------------

選択肢	回答数	比率
1 とても良かった	40	54.1%
2 やや良かった	19	25.7%
3 普通だった	12	16.2%
4 やや不満だった	1	1.4%
5 とても不満だった	1	1.4%
無回答	1	1.4%
有効回答数	74	100%

北方領土隣接地域の滞在時間について、「ちょうど良かった」とする生徒が最も多く、全体の77.0%を占めている。一方、バスを中心とした現地移動の中で、北方領土隣接地域への行き来に要する移動時間の長さについては、「普通だった」とする者が約7割を占めているものの、「長すぎた/やや長すぎた」とする者も3割程度を占めている。

#### 4) 隣接地域の滞在時間

- 1. 長すぎた
- 2. やや長すぎた
- 3. ちょうど良かった
- 4. やや短すぎた
- 5. とても短すぎた

#### 5) 隣接地域への行き来に要する移動時間

- 1. 長すぎた
- 2. やや長すぎた
- 3. 普通だった
- 4. やや短すぎた
- 5. とても短すぎた

#### 【隣接地域の滞在時間】

選択肢	回答数	比率
1 長すぎた	0	0.0%
2 やや長すぎた	9	12.2%
3 ちょうど良かった	57	77.0%
4 やや短かった	5	6.8%
5 とても短すぎた	2	2.7%
無回答	1	1.4%
有効回答数	74	100%

#### 【隣接地域への行き来に要する移動時間】

選択肢	回答数	比率
1 長すぎた	2	2.7%
2 やや長すぎた	20	27.0%
3 普通だった	51	68.9%
4 やや短かった	0	0.0%
5 とても短すぎた	0	0.0%
無回答	1	1.4%
有効回答数	74	100%

#### ■ 体験学習全般の評価

北方領土の望見や元島民の講話などの北方領土隣接地域における体験学習に対して、訪問前に、他のプログラムと同程度の期待を抱いていたとする生徒が最も多く、全体の約6割を占めている。

また、他のプログラムよりも北方領土問題に関する参加・体験型学習に大きな期待を抱いていたとする者は2割を超えていることから、事前段階で、生徒が敬遠しがちな「学習」という枠組みに固執せず、生徒の興味・関心を喚起することを主目的とした、例えば、現地の同年代の高校生との交流会等、柔らかな情報発信のあり方を検討することも一案であると考えられる。

問5. 今回の修学旅行に出かける前に、訪問先や学習プログラムの中で、北方領土隣接地域における体験学習（北方領土望見、元島民との講話等）に対してどのぐらい期待していましたか。以下の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。

- 1. すべての訪問先やプログラムの中で最も期待していた
- 2. 一番にではないが、訪問先やプログラムの中では期待が大きい方だった
- 3. 期待の大きさは他の訪問先やプログラムと特に変わらなかった（普通だった）
- 4. どちらかといえばあまり期待していなかった

選択肢	回答数	比率
1 すべての訪問先やプログラムの中で最も期待していた	1	1.4%
2 一番にではないが、訪問先やプログラムの中では期待が大きい方だった	16	21.6%
3 期待の大きさは他の訪問先やプログラムと特に変わらなかった（普通だった）	43	58.1%
4 どちらかといえばあまり期待していなかった	12	16.2%
無回答	2	2.7%
有効回答数	74	100%

北方領土隣接地域における参加・体験型学習の事後的な評価として、「とても良かった」とする生徒が過半数を占め、「やや良かった」とする生徒と合わせ、約8割の生徒が肯定的な評価を下している。また、そのような感想を抱いた理由として、それまであまり縁のなかった北方領土問題に対し、その実態を体感することができた点を挙げる生徒が比較的多く見られる。

問6. 実際に北方領土隣接地域を訪問し、体験学習を経験してみて、感想はどうでしたか。以下の中からあてはまるもの一つに○をつけてください。またそのように感じた理由を簡潔にご記入ください。

- 1. とても良かった
- 2. やや良かった
- 3. 普通だった
- 4. やや不満だった
- 5. とても不満だった

➔

<そのように感じた理由>

選択肢	回答数	比率
1 とても良かった	38	51.4%
2 やや良かった	24	32.4%
3 普通だった	9	12.2%
4 やや不満だった	1	1.4%
5 とても不満だった	1	1.4%
無回答	1	1.4%
有効回答数	74	100%

北方領土隣接地域を訪問した際に、追加的にあるいはより多く体験したかった点として、「資料や展示物がもっと見たかった」とする生徒が最も多く、全体の約半数を占めている。次いで、「元島民の講話をもっと沢山聞きたかった」とする者が多く、全体の約3割を占めている。

一方、事後学習に関連し、「自分たちが感じたことや意見を資料などにまとめ、元島民など関係する人に伝えたかった」とする生徒は約1割にとどまる。

しかし、現地を訪問することを通じて得た知見や実感を、事後的に振り返ることの学習的意義は大きいことから、修学旅行で現地を訪問した全生徒を対象とした「事後的な振り返り」と、積極的に事後学習を希望する1割程度の生徒を対象とした「現地島民を交えた事後学習」の2段階で事後学習を構成し、その支援を北方領土問題の啓発機関が行うことも検討していく必要があると考えられる。

問7. 北方領土隣接地域を訪問した際に、もっと体験してみたかったと思ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 元島民の講話をもっと沢山聞きたかった      2. 資料や展示物がもっと見たかった  
 3. 元島民の方ともっと意見交換をしたかった  
 4. 他の元島民や地元の人たちに自分たちで色々尋ねること（取材学習）がしたかった  
 5. 学んだことについてみんなで議論したかった  
 6. 自分たちが感じたことや意見を資料などにまとめ、元島民など関係する人に伝えたかった  
 7. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

選択肢	回答数	比率
1 元島民の講話をもっと沢山聞きたかった	24	32.4%
2 資料や展示物がもっと見たかった	35	47.3%
3 元島民の方ともっと意見交換をしたかった	9	12.2%
4 他の元島民や地元の人たちに自分たちで色々尋ねること（取材学習）がしたかった	5	6.8%
5 学んだことについてみんなで議論したかった	1	1.4%
6 自分たちが感じたことや意見を資料などにまとめ、元島民など関係する人に伝えたかった	8	10.8%
7 その他	1	1.4%
無回答	4	5.4%
有効回答数	74	100%

一方、同校の教員に対するヒアリング調査では、生徒の評価や感想として、北方領土問題の深刻さやリアルさを実感し評価は高いものの、移動時間の長さには不満があることが指摘された。

- 生徒の評価は総じて高かったが、バスの移動時間の長さに不満が聞かれた。実際、長時間の移動により体調を崩す生徒もいた。
- 現実に北方領土問題を抱える地域を訪れ、元島民の話の聞いたり展示を見る経験は、問題の深刻さやリアルさを実感する上で大きい。



### ③ 北方領土隣接地域で他に学習したいと思ったことについて

北方領土隣接地域では、北方領土問題のみならず、「自然体験」や「産業体験」等を行うことができる資源を有しているが、約4割の生徒が「この地域の豊かな自然を体験したい」としており、その有効活用へのニーズがあることが伺える。また、同程度の生徒が「ロシアとの交流など、この地域での国際交流に関する学習体験をしたい」としている。

この点を踏まえると、北方領土隣接地域への修学旅行を誘致する上で、自然との触れ合いが可能な施設やレジャー、ロシア等との国際交流に関する参加・体験型学習と連携することにより、生徒にとって、訪問先としての魅力が増すものと考えられる。なお、ロシア等との国際交流については、一部の北方領土問題の啓発施設で学習することも可能であるが、生徒のニーズの大きさを鑑みると、展示内容や説明の仕方を工夫することも重要であると思われる。

問8. 北方領土隣接地域で、北方領土問題に関する学習以外のことを体験できるとしたら、どのような分野の学習を経験したいですか。以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. この地域の豊かな自然を体験したい
- 2. 農業や林業、漁業など、この地域の自然と関わりのある産業を体験したい
- 3. この地域の歴史全般に関する学習を体験したい
- 4. この地域の伝統的な文化に関する学習を体験したい
- 5. ロシアとの交流などこの地域での国際交流に関する学習を体験したい
- 6. 特にない
- 7. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

選択肢	回答数	比率
1 この地域の豊かな自然を体験したい	30	40.5%
2 農業や林業、漁業など、この地域の自然と関わりのある産業を体験したい	5	6.8%
3 この地域の歴史全般に関する学習を体験したい	16	21.6%
4 この地域の伝統的な文化に関する学習を体験したい	8	10.8%
5 ロシアとの交流などこの地域での国際交流に関する学習を体験したい	26	35.1%
6 特にない	10	13.5%
7 その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
有効回答数	74	100%

④ 北方領土隣接地域での学習を経験したことによる意識の変化等について

■ 関心の高まり

北方領土隣接地域で参加・体験型学習を経験することにより、北方領土問題への関心が「以前よりも、少し高くなった」とする生徒は最も多く、全体の約6割を占めている。さらに、「以前よりも、非常に関心が高くなった」とする生徒（33.8%）と合わせると、9割を超える生徒が現地での学習体験によって、北方領土問題に対する関心が高まったとしている。

問9. 北方領土隣接地域で参加・体験型学習を経験して、北方領土への関心は変わりましたか。あてはまるもの一つだけに○をつけてください。

1. 以前よりも、非常に関心が高くなった } →問10へ  
 2. 以前よりも、少し関心が高くなった }  
 3. 変わらない  
 4. その他 ( )

選択肢	回答数	比率
1 以前よりも、非常に関心が高くなった	25	33.8%
2 以前よりも、少し関心が高くなった	43	58.1%
3 変わらない	5	6.8%
4 その他	0	0.0%
無回答	1	1.4%
有効回答数	74	100%

■ 事前事後で関心の変化が大きかった具体的な分野

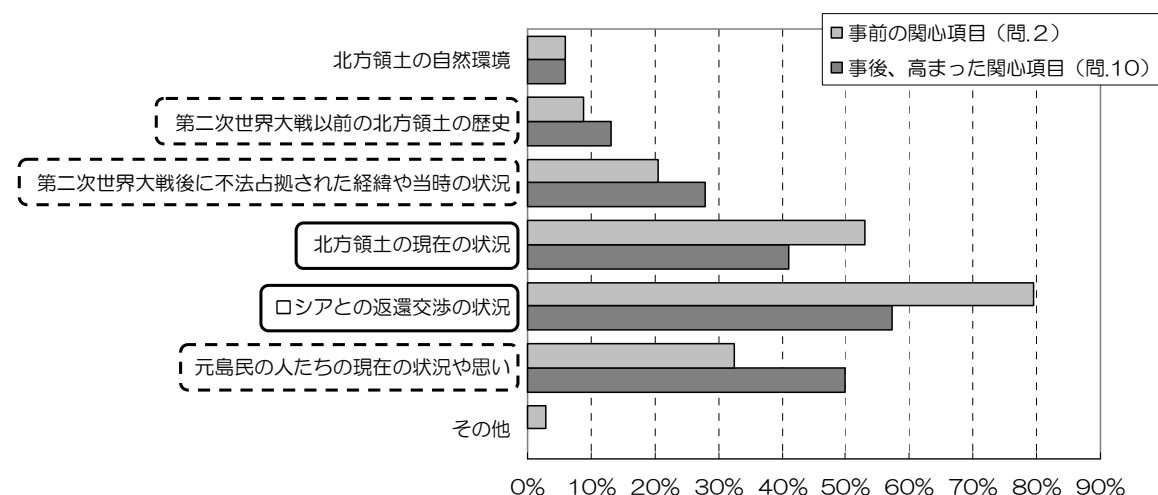
北方領土隣接地域への訪問や参加・体験型学習を通じて、関心が高まった項目は、「ロシアとの返還交渉の状況」「元島民の人たちの現在の状況や思い」、「北方領土の現在の状況」の順で回答割合が高くなっている。

事前に関心があった項目への回答と比較すると、事前の関心では3番目であった「元島民の人たちの現在の状況や思い」が2番目に挙げられており、関心が高まったと回答した生徒の割合も、事前に関心があったと回答した生徒の割合を大きく上回っている。これは、元島民の講話を直に聞くなど、よりリアリティの高い学習体験が、関心の向上に特に効果が高かったのではないかと考えられる。

問 10. 北方領土のどのような点に関して関心が高まりましたか。以下の中からあてはまるものすべてに○を着けてください。

1. 第二次世界大戦以前の北方領土の歴史  
 2. 第二次世界大戦後に不法占拠された経緯や当時の状況  
 3. 北方領土の現在の状況  
 4. ロシアとの返還交渉の状況  
 5. 元島民の人たちの現在の状況や思い  
 6. 北方領土の自然環境  
 7. その他（具体的に

選択肢	回答数	比率
1 第二次世界大戦以前の北方領土の歴史	9	13.2%
2 第二次世界大戦後に不法占拠された経緯や当時の状況	19	27.9%
3 北方領土の現在の状況	28	41.2%
4 ロシアとの返還交渉の状況	39	57.4%
5 元島民の人たちの現在の状況や思い	34	50.0%
6 北方領土の自然環境	4	5.9%
7 その他	0	0.0%
無回答	1	1.5%
有効回答数	68	100%



### ⑤ 事後学習や啓発活動への参加意向について

北方領土隣接地域を訪問した後、学習成果の発表に対する参加意向として、過半数の生徒が「自分では特に何もするつもりはない」としている。しかし、「地元の人たちの評価や感想が貰えるなら、感じたことや意見を手紙等で送りたい (27.0%)」「公的な機関が主催する勉強会や意見交換会のようなものがあれば参加したい (10.8%)」とする生徒は少なくない。

このことから、事後学習に対する積極的な参加意向を有する生徒は一定程度おり、現地の人々との手紙等を通じた交流、公的機関主催の勉強会や意見交換会への参加を希望する生徒を、効率的に把握・抽出する方法を構築していくことが、今後の修学旅行を通じた北方領土学習の拡大・充実において重要なポイントとなると考えられる。

問 11. 北方領土隣接地域を訪問したことによる学習成果を発表する機会があったら、あなたは参加したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 地元の人達の評価や感想が貰えるなら、感じたことや意見を手紙等で送りたい |
| 2. 作文など意見をまとめた作品のコンクールがあったら作品を出したい     |
| 3. 弁論大会があれば参加したい                       |
| 4. 公的な機関が主催する勉強会や意見交換会のようなものがあれば参加したい  |
| 5. 自分では特に何もするつもりはない                    |
| 6. その他 (具体的に )                         |

選択肢	回答数	比率
1 地元の人達の評価や感想が貰えるなら、感じたことや意見を手紙等で送りたい	20	27.0%
2 作文など意見をまとめた作品のコンクールがあったら作品を出したい	1	1.4%
3 弁論大会があれば参加したい	1	1.4%
4 公的な機関が主催する勉強会や意見交換会のようなものがあれば参加したい	8	10.8%
5 自分では特に何もするつもりはない	41	55.4%
6 その他	1	1.4%
無回答	3	4.1%
有効回答数	74	100%

#### ⑥ 教員へのヒアリング結果について

一方、同校の教員に対するヒアリング調査では、北方領土問題に対する知識や理解は深まるものの、啓蒙活動への参加など次のステージへの展開を期待することの難しさが指摘された。

- ・ 北方領土隣接地域を実際に訪問し、事前・事後学習も行うので、北方領土問題に関する知識や理解が深まっているのは確かである。
- ・ しかし、高校生に次のステップとして何らかの行動を期待することは難しい。